

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 内外テック株式会社
 コード番号 3374 URL <http://www.naigaitec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(氏名) 権田浩一
 (氏名) 中田 治

TEL 03-5433-1123

上場取引所 JQ

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	11,753	—	△185	—	△214	—	△996	—
20年3月期第3四半期	15,577	△2.6	257	△47.9	259	△44.3	111	△46.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△197.26	—
20年3月期第3四半期	21.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	10,064	—	1,325	13.2	—	—	271.30	—
20年3月期	11,207	—	2,433	21.7	—	—	480.03	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 1,325百万円 20年3月期 2,433百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,400	△32.6	△340	—	△390	—	△1,140	—	△225.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔注〕詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 5,072,000株 20年3月期 5,072,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 184,597株 20年3月期 1,736株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 5,053,516株 20年3月期第3四半期 5,071,053株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 通期の業績予想につきましては、平成20年11月7日に発表いたしました予想を修正しております。詳細につきましては3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」及び平成21年2月13日公表の「通期業績予想の修正、配当金予想の修正ならびに特別損失の計上、繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ」をご覧ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提のもとで、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライム問題発生以降、世界的な金融不安による景気後退懸念の中、10月以降は企業の設備投資や輸出が急激に落ち込み、個人消費も冷え込むなど大幅に悪化し、極めて厳しい局面となりました。

当社グループの主な取引先である半導体業界や半導体製造装置業界におきましても、世界景気の後退による市況停滞と需給バランスの悪化等の影響により、半導体メーカーの設備投資が延期、凍結されるなど、受注は急速に落ち込み、大変厳しい状況になりました。

こうした経営環境のもと、当社グループでは、より一層の原価改善ならびに販売費・一般管理費の削減を図るとともに、連結子会社間での一部事業譲渡による事業の効率化や専門性の取り組みを行ってまいりましたが、当社グループが主に関連する半導体市場は想定する以上に冷え込み、業績は大変厳しいものとなりました。

以上の状況を踏まえ、営業所等の統廃合、希望退職者の募集、連結子会社の事業の休止及び固定資産の減損処理などの事業再編を実施するため、当第3四半期連結会計期間において、事業再編損失引当金繰入額4億37百万円を特別損失に計上しております。

また、当期の業績見通しを踏まえて、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討いたしました結果、繰延税金資産の全額を取崩し、法人税等調整額（法人税等）に2億91百万円計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は117億53百万円（前年同期比24.5%減）となりました。損益面では、営業損失1億85百万円（前年同期は営業利益2億57百万円）、経常損失2億14百万円（前年同期は経常利益2億59百万円）、四半期純損失9億96百万円（前年同期は純利益1億11百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①販売事業

電子機器・機械装置の販売事業におきましては、販売費・一般管理費の削減等を図りましたが、半導体メーカー等の設備投資の急速な落ち込みによる受注の激減、また、取引先からのコストダウン要請等により、売上高101億70百万円（前年同期比27.2%減）、営業損失1億1百万円（前年同期は営業利益2億69百万円）となりました。

②受託製造事業

電子機器・機械装置の組立等の受託製造事業におきましては、連結子会社間での一部事業譲渡による効率化や原価改善を図りましたが、取引先からの受注の先送りやキャンセルが発生したこと、連結子会社の新規設備が計画どおりに稼動しなかったこと、さらに減価償却費等の経費増加により、売上高24億16百万円（前年同期比1.0%増）、営業損失1億15百万円（前年同期は営業損失41百万円）となりました。

なお、前年同期増減率及び前年同期の金額につきましては、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億43百万円減少し、100億64百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の1億99百万円の減少や受取手形及び売掛金の6億30百万円の減少等により流動資産が8億75百万円の減少となり、減価償却等による有形固定資産44百万円の減少や繰延税金資産の取崩し等による投資その他の資産2億16百万円の減少により固定資産が2億67百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ35百万円減少し、87億38百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の増加等により固定負債が1億88百万円増加したのに対し、流動負債は事業再編損失引当金を繰入れたため4億37百万円増加しましたが、仕入高減少に伴う支払手形及び買掛金の減少6億18百万円等により流動負債が2億24百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ11億7百万円減少し、13億25百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が当四半期純損失等により10億47百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ21.7%から13.2%となりました。

（キャッシュ・フローについて）

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億61百万円減少し、24億45百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は3億49百万円となりました。この主な増加要因は売上債権の減少額6億30百万円や事業再編損失引当金の増加額4億37百万円であり、主な減少要因は税金等調整前四半期純損失6億96百万円や仕入債務の減少額6億18百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億40百万円となりました。これは主として定期預金の現金同等物からの預入期間変更による増加額等1億61百万円及び有形固定資産の取得による支出61百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は2億29百万円となりました。これは主として長期借入金の純増額3億25百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の連結業績につきましては、欧米を中心とした金融不安が日本を含む世界全体の实体经济を下押しするリスクが拡大し、景気の現状は大幅に悪化しており、また、半導体業界や半導体製造装置業界におきましてもメーカーの設備投資が急速に落ち込み、大変厳しい状況が予想されるため、本日(平成21年2月13日)公表しました「通期業績予想の修正、配当予想の修正ならびに特別損失の計上、繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ」において通期業績予想を修正いたしました。

<ご参考>

(平成21年3月期通期連結業績予想)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年11月7日発表)	16,100	△69	△105	△160
今回修正予想(B)	13,400	△340	△390	△1,140
増減額(B-A)	△2,700	△271	△285	△980
増減率(%)	△16.8	—	—	—

なお、上記に加え、個別業績予想、配当予想につきましても変更をお知らせしております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前四半期連結会計期間に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

③固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④税金費用の計算

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(追加情報)

①有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び連結子会社は、平成20年度の法人税法の改正に伴い、資産の利用状況等を勘案した結果、第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数を変更しております。

この変更に伴う、損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

②役員退職慰労引当金

役員等の報酬制度見直しの一環として、平成20年6月25日の定時株主総会の日をもって役員退職慰労金制度を廃止いたしました。一部の連結子会社についても、役員退職慰労金制度を廃止しております。

なお、当該総会までの期間に対応する役員退職慰労金相当額179,484千円は、長期未払金に振り替えております。

③事業再編損失引当金

当社及び連結子会社において発生することが見込まれる事業再編に伴う損失に備えるため、当該損失見込額を計上しております。

当第3四半期連結会計期間末日現在における損益に与える影響額は437,996千円であり、特別損失に計上しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,751,749	2,951,540
受取手形及び売掛金	4,024,116	4,654,220
商品及び製品	456,124	506,125
仕掛品	45,361	36,411
原材料及び貯蔵品	162,046	117,409
その他	152,874	192,076
貸倒引当金	△14,195	△3,986
流動資産合計	7,578,076	8,453,797
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,124,712	1,130,416
その他(純額)	664,152	702,476
有形固定資産合計	1,788,865	1,832,893
無形固定資産	12,042	19,396
投資その他の資産		
その他	686,403	903,182
貸倒引当金	△855	△1,324
投資その他の資産合計	685,548	901,858
固定資産合計	2,486,455	2,754,147
資産合計	10,064,531	11,207,944
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,562,041	5,180,815
短期借入金	60,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	805,193	655,219
未払法人税等	9,277	106,122
賞与引当金	1,900	121,388
事業再編損失引当金	437,996	—
その他	256,782	273,675
流動負債合計	6,133,190	6,357,220
固定負債		
社債	80,000	120,000
長期借入金	1,760,009	1,584,302
退職給付引当金	578,178	534,785
役員退職慰労引当金	—	177,754
長期未払金	179,484	—
その他	7,725	—
固定負債合計	2,605,397	2,416,841
負債合計	8,738,588	8,774,062

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	389,928	389,928
資本剰余金	322,078	322,078
利益剰余金	651,195	1,698,765
自己株式	△26,612	△643
株主資本合計	1,336,589	2,410,127
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10,645	23,755
評価・換算差額等合計	△10,645	23,755
純資産合計	1,325,943	2,433,882
負債純資産合計	10,064,531	11,207,944

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	11,753,666
売上原価	10,706,144
売上総利益	1,047,522
販売費及び一般管理費	1,232,959
営業損失(△)	△185,436
営業外収益	
受取利息	5,309
受取配当金	3,717
仕入割引	5,807
その他	11,073
営業外収益合計	25,908
営業外費用	
支払利息	49,439
その他	5,775
営業外費用合計	55,215
経常損失(△)	△214,744
特別利益	—
特別損失	
減損損失	43,670
事業再編損失引当金繰入額	437,996
特別損失合計	481,666
税金等調整前四半期純損失(△)	△696,410
法人税等	300,456
四半期純損失(△)	△996,867

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△696,410
減価償却費	64,881
減損損失	43,566
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,740
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△119,488
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	43,393
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△177,754
長期未払金の増減額 (△は減少)	179,484
事業再編損失引当金の増減額 (△は減少)	437,996
受取利息及び受取配当金	△9,027
支払利息	49,439
売上債権の増減額 (△は増加)	630,572
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,585
仕入債務の増減額 (△は減少)	△618,773
その他	△43,945
小計	△209,910
利息及び配当金の受取額	9,242
利息の支払額	△46,383
法人税等の支払額	△102,405
営業活動によるキャッシュ・フロー	△349,455
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△200,232
定期預金の払戻による収入	38,669
有形及び無形固定資産の取得による支出	△61,984
有形固定資産の売却による収入	4,136
投資有価証券の取得による支出	△2,382
その他	△19,110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240,904
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	685,000
短期借入金の返済による支出	△645,000
長期借入れによる収入	900,000
長期借入金の返済による支出	△574,317
社債の償還による支出	△60,000
自己株式の取得による支出	△25,968
配当金の支払額	△50,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	229,011
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△361,354
現金及び現金同等物の期首残高	2,806,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,445,022

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	販売事業 (千円)	受託製造事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,102,425	1,651,241	11,753,666	—	11,753,666
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	67,629	765,161	832,790	(832,790)	—
計	10,170,055	2,416,402	12,586,457	(832,790)	11,753,666
営業利益又は営業損失（△）	△101,426	△115,090	△216,517	31,080	△185,436

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	15,577,227
II 売上原価	14,026,597
売上総利益	1,550,629
III 販売費及び一般管理費	1,292,693
営業利益	257,935
IV 営業外収益	
1 受取利息及び配当金	10,215
2 賃貸収入	3,562
3 その他	22,626
営業外収益合計	36,405
V 営業外費用	
1 支払利息	31,517
2 賃貸原価	184
3 その他	3,498
営業外費用合計	35,200
経常利益	259,141
VI 特別利益	9,956
VII 特別損失	—
税金等調整前四半期純利益	269,097
税金費用	157,680
四半期純利益	111,417

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日~12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	269,097
売上債権の増減額(増加:△)	452,739
たな卸資産の増減額(増加:△)	△83,481
仕入債務の増減額(減少:△)	△821,762
その他	54,855
小計	△128,552
法人税等の支払額	△369,624
その他	△19,007
営業活動によるキャッシュ・フロー	△517,184
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形・無形固定資産の取得による支出	△184,240
投資有価証券の取得による支出	△2,184
投資有価証券の売却による収入	19,338
その他	△39,316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206,404
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(減少:△)	10,000
長期借入れによる収入	850,000
長期借入金の返済による支出	△386,874
社債の償還による支出	△140,000
配当金支払額	△50,712
その他	△107
財務活動によるキャッシュ・フロー	282,305
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△3
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△441,285
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,570,309
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	3,129,023

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

	販売事業 (千円)	受託製造事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	13,965,047	2,392,061	16,357,108	(779,881)	15,577,227
営業費用	13,695,980	2,433,350	16,129,330	(810,039)	15,319,291
営業利益又は営業損失 (△)	269,066	△41,289	227,777	30,158	257,935

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。